2013　第１号

韮高 SSH だより

2013.5.14　発行

こんにちは。SSH&いきものがたりです。１年生のみなさんには初便りとなりますね。韮高 SSH では､身近な自然や科学関係のネタを題材にしたお便りを定期的に発信しています。あまり身構えずに、気楽に読んでいただければ嬉しいです。第１号は、植物や自然にとても詳しい実習助手の NZ 先生に原稿を寄せていただきました（^^8

新緑の美しい季節になりました。桜は早い時期に終わってしまったけれど、足元では様々な草花が私たちの目を楽しませてくれています。今回はそんなお花たちを通して「多様性」について語りたいと思います。

「生物多様性　Biodiversity」

世間では、多様性は一つのキーワードになっています。逆にいえばグローバリゼーションと画一化の波が、日本をそして世界を覆ってきているということです。

例えば、日本の地方都市を旅してみると、どこにいっても、同じようなコンビニ、大手スーパー、レストラン、カフェ・・・。大手のチェーン店だらけです。それが悪いとは言えないけど、その都市ならではの文化や伝統みたいなものは残していきたいですよね。「生態系」も同じことだと考えています。

植物の世界でも同じような現象が起きています。こちらは、５月～７月頃にかけて、鮮やかな黄色の花をつける**オオキンケイギク**。道端や河原などでよく見かけます(カラーでお見せできないのが残念ですが・・・)。ここ数年、釜無川のあちらこちらで黄色いお花畑を作るまでになっていて、目にした方も多いのでは。きれいな花だからといってご自宅のお庭や花壇に植えるは、絶対にいけません。

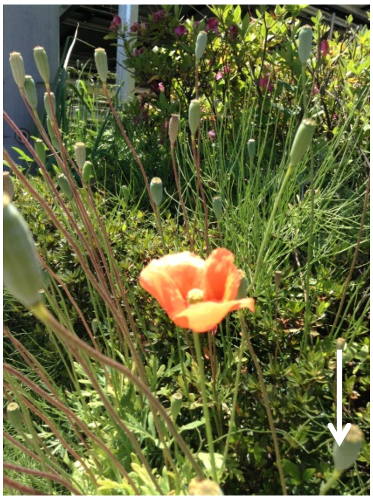
オオキンケイギクは、日本の生態系に重大な影響をおよぼすおそれがある植物として、**「特定外来生物」**に指定され、栽培、運搬、販売、野外に放つことなどが禁止されているのです！

オオキンケイギクはもともと北アメリカ原産。花もきれいなので、緑化のために取り入れられ、ポット苗としても流通していました。しかし、あまりの強靭さに在来種を駆逐する恐れがでてきたため、人の手でこれ以上広げないようにするため、環境省は平成１８年２月に「特定外来生物」に指定したのです。オオキンケイギクにとっては迷惑な話かもしれませんが・・。

こちらは私 NZ が最近気にしている**ナガミヒナゲシ**。やはり今の季節、道路沿いやちょっとした空地などで可憐なオレンジ色の花を咲かせています。1961 年に世田谷区で発見された外来

植物で、近年道路沿いに急速に広がっています。花が美しいので好まれ、意図的に増やされることもありますが、繁殖力が強く雑草化の恐れありです。

注目してほしいのは、花のあとに控えているこのちょっと長い実（矢印）。ヒナゲシの中でもやや長めの実をつけることでこの名がついたそうですが一つの実には、なんと平均 1600 粒の種子を持ち、一個体から最大で約 15 万粒の種子が生産されるそうなのです。小学生時代にみなさん、アサガオの栽培を経験したと思います。アサガオでは一つの花から生産される種子の数はせいぜい５～６個。その差は歴然としていますよね。しかもナガミヒナゲシは、根から滲出する阻害物質による**アレロパシー**が認められ、他の植物の生育を抑制しているという研究結果が報告されています。



韮崎高校でも、校舎の西門付近で開花を確認しています！甲府などと比べるとまだまだ数は少なめですが、数年後にはもっと数が増えてくる可能性は大です。このまま対策をとらないと、日本中の河原はオオキンケイギクで埋め尽くされ、道端に生えている草花はナガミヒナゲシばかりになってしまいそうな勢いです。まさしく画一化の方向・・・。一様にお花が咲いている状態は一見綺麗にみえますが、もともとあったはずの在来種のことを私たちは忘れてはいけないと思います。

近年の地球環境保全への関心が急速に高まる中で、共通のキーワードとして広く使われている言葉**「生物多様性(biodiversity)」**。生物多様性については一言で表現することは難しいのですが、韮高 SSH の大きなテーマの一つになっています。河原で、道端で咲き始めているこんな花たちを見かけたら、生態系のこと、多様性のことに思いを馳せてもらえると嬉しいです。

多様なものに向き合うということは、「この世には、自分とは違う生き方・ものの見方・感じ方をするものがたくさん存在しており、その一つ一つが大切である」ということを知ることだと思います。金子みすずさんの言葉を借りれば「みんなちがって　みんないい」という価値観です。

そして、自分という存在は世の中の一要素に過ぎず、自分中心の世界観（俗に言うジコチューです）が単なる錯覚だということを学ぶ大切な機会になると思うのです。多様なものを学ぶことで、人は謙虚さを知り、他人を大切にするという深い優しさにまで繋がるのだと思います。

新学期を迎え、すでにひと月半。教室で、部活動で、新しい仲間たちとの新しい生活は順調ですか。そろそろお互いの個性も際立ってきている頃かなと思います。仲間を大切にして、お互いに切磋琢磨していけるといいですね。

＊アレロパシー(他感作用)　＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

ある植物が、他の植物の成長を阻害する物質を分泌する現象。外国から侵入し、日本に定着する「帰化植物」の多くはこの機能を持っています。よく研究された植物に北米原産の「セイタカアワダチソウ」があります。この植物は、根からシスデヒドロマトリカリアエステルという物質を漏出し、他の植物の成長を邪魔します。アレロパシーは、外来植物の勢力拡大の大きな原因になっています。また作物が育ちにくくなる「連作障害」の原因でもあり盛んに研究が行われています。